

第90回日本薬理学会年会シンポジウム

看護における薬理学教育： 卒前・卒後・継続教育のあり方と人材育成

日時

2017年

3月17日

金

14:20-15:50

長崎ブリックホール E会場

本シンポジウムでは、看護系大学と薬理学会との相互理解を図り、看護における薬理学教育を再検討し、新しい時代のニーズに対応する看護薬理学教育を模索するとともに、今後の看護薬理学教育、人材育成のあるべき方向性について考察します。

4人のシンポジストが、それぞれの立場から看護の薬理学教育について発表を行い、その後で、看護における薬理学教育のあり方について総合討論を行います。

オーガナイザー：五嶋良郎（横浜市立大学）柳田俊彦（宮崎大学）
コメンテーター：柳澤輝行（東北福祉大学）石井邦明（山形大学）

演者・講演タイトル

1. 斉藤 しのぶ（文部科学省高等教育局医学教育課 看護教育専門官）
「看護学教育の動向と課題：看護専門基礎教育を中心に」
2. 赤瀬 智子（横浜市立大学医学部看護学科看護生命科学 教授）
「看護における薬理学教育：何をいかに教えるか
—西洋薬から漢方薬まで—」
3. 佐伯 由香（愛媛大学医学部看護学科 看護生理学 教授）
「看護における生理学教育：薬理学との共通課題と対策」
4. 柳田俊彦（宮崎大学医学部看護学科 臨床薬理 教授）
「Patient-oriented pharmacology に基づいた
看護における薬理学教育の重要性と課題」

本シンポジウムに関する
問い合わせ先



宮崎大学医学部看護学科 臨床薬理 柳田俊彦
yanagita@med.miyazaki-u.ac.jp